

木材需給動向について (全国)

2025年11月

林野庁

林産物に関するマンスリーレポート「モクレポ」

木材・木材製品、特用林産に関する最新の統計データや、林野庁の施策に関するトピックス、セミナー・イベントの情報などを取りまとめ、毎月中旬に更新しています。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/toukei/monthlyreport.html>

(QRコードからもアクセスできます。)



目次

1 価格の動向

(1) 原木価格（原木市場・共販所）

ア スギ（全国）

イ ヒノキ（全国）

(2) 製品価格

2 工場の原木等の入荷、製品の生産等の動向

(1) 製材（全国）

(2) 合板（全国）

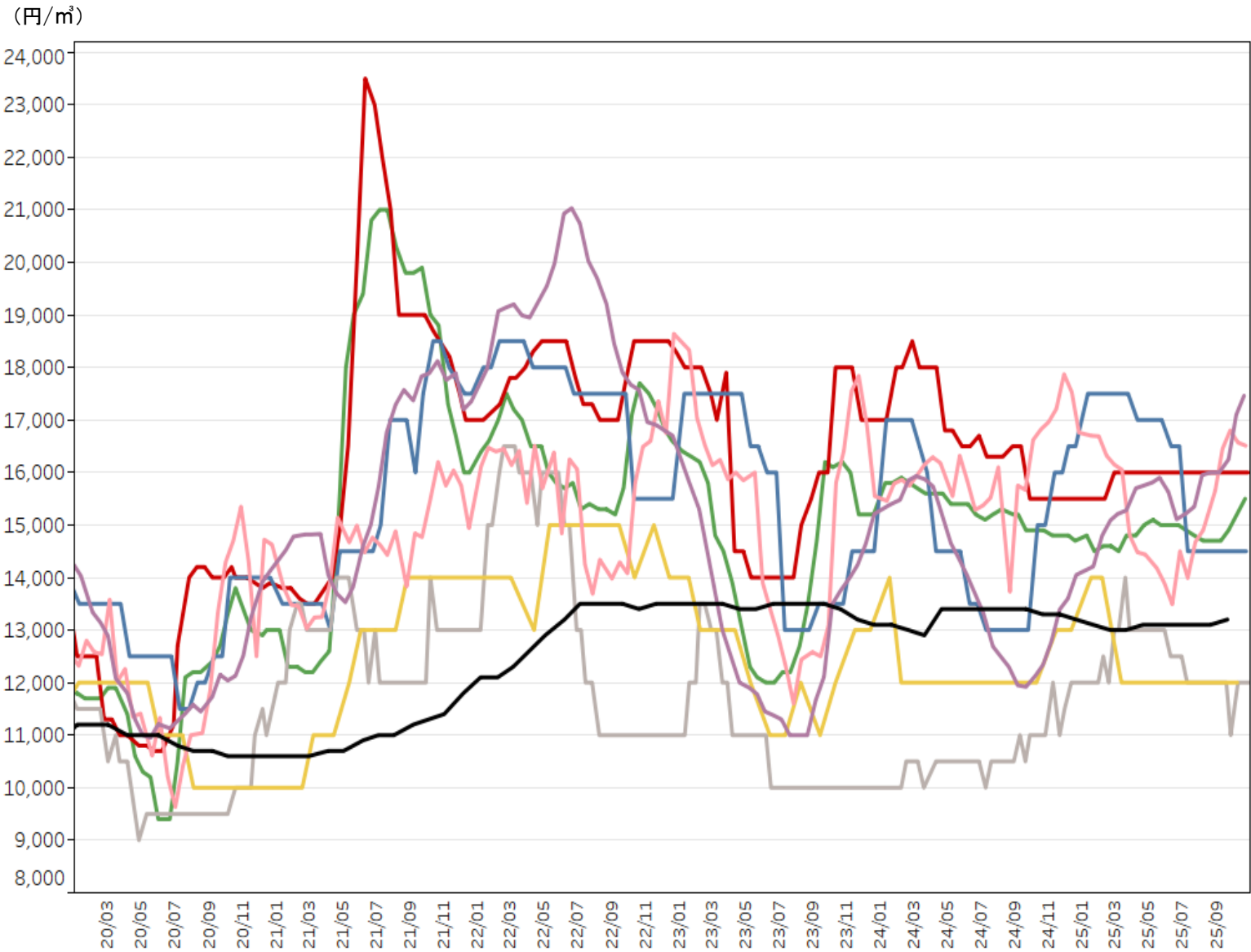
(3) チップ（全国）

3 住宅着工戸数の動向

4 木材輸出量

1 価格の動向 (1) 原木価格 (原木市場・共販所)
ア スギ (全国) 径24cm程度、長3.65~4.0m (2020年1月~)

• 全国の原木市場・共販所において、直近のスギ原木価格は、12,000円~17,460円/㎡となっている。



注1：北海道はカラマツ（工場着価格）。
注2：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

資料：林野庁木材産業課調べ

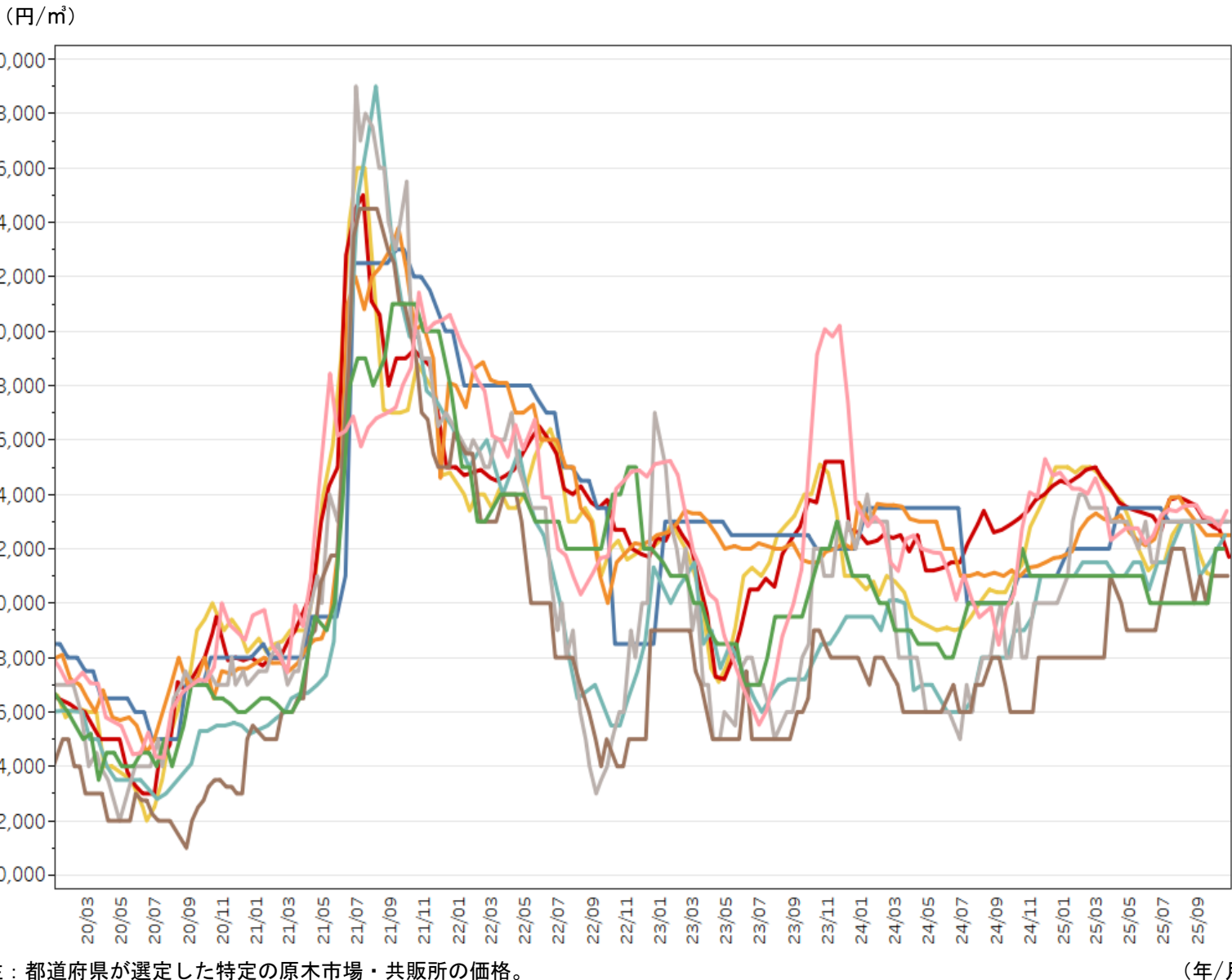
(単位：円/㎡)

都道府県	2025年直近※	前年同期	前年同期比
北海道	13,200	13,400	99%
秋田県	17,460	12,340	141%
栃木県	16,510	16,820	98%
長野県	12,000	12,000	100%
岡山県	12,000	11,000	109%
高知県	14,500	15,000	97%
熊本県	16,000	15,500	103%
宮崎県	15,500	14,900	104%

※北海道については9月、秋田県、栃木県、長野県、岡山県、高知県、熊本県及び宮崎県については10月の値を使用。

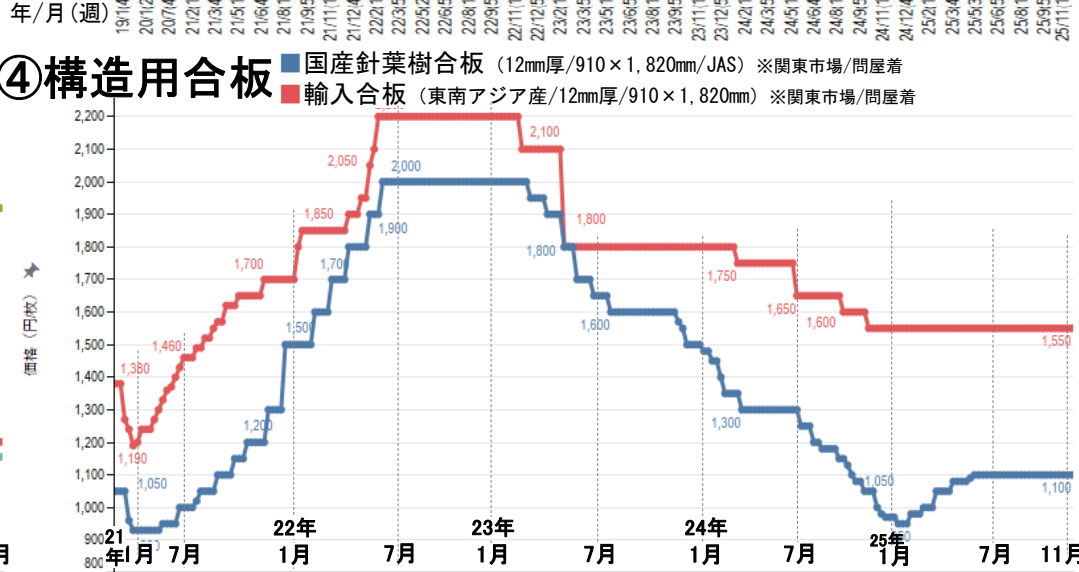
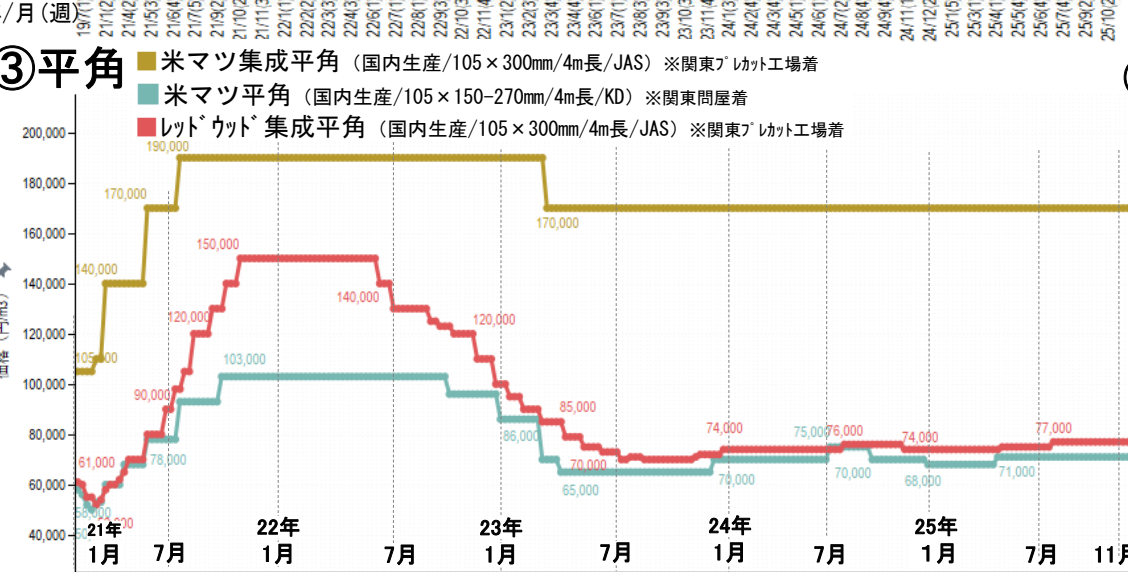
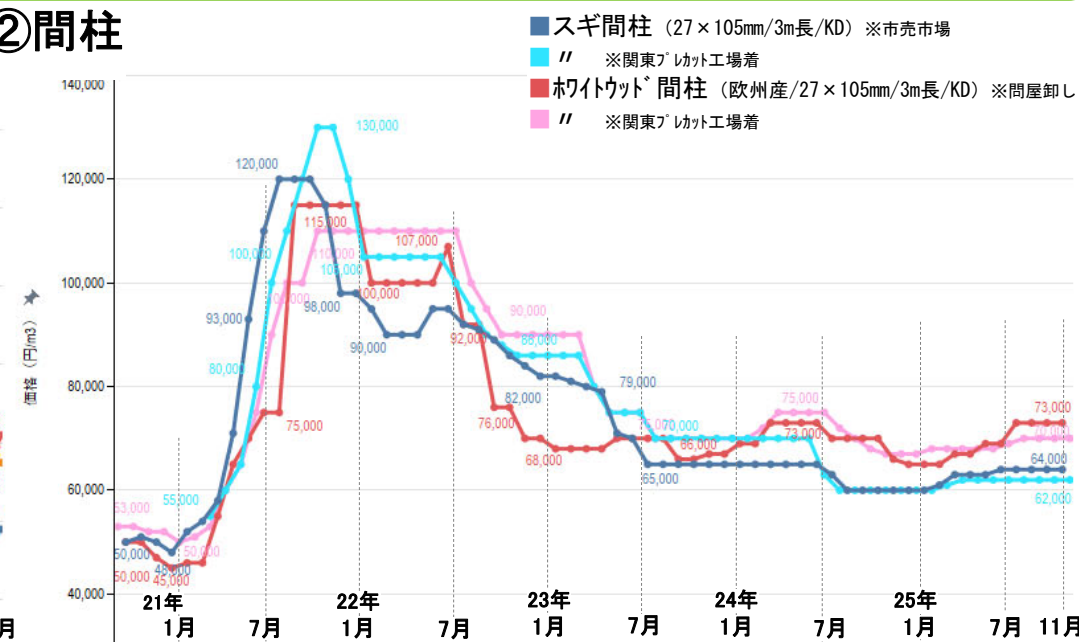
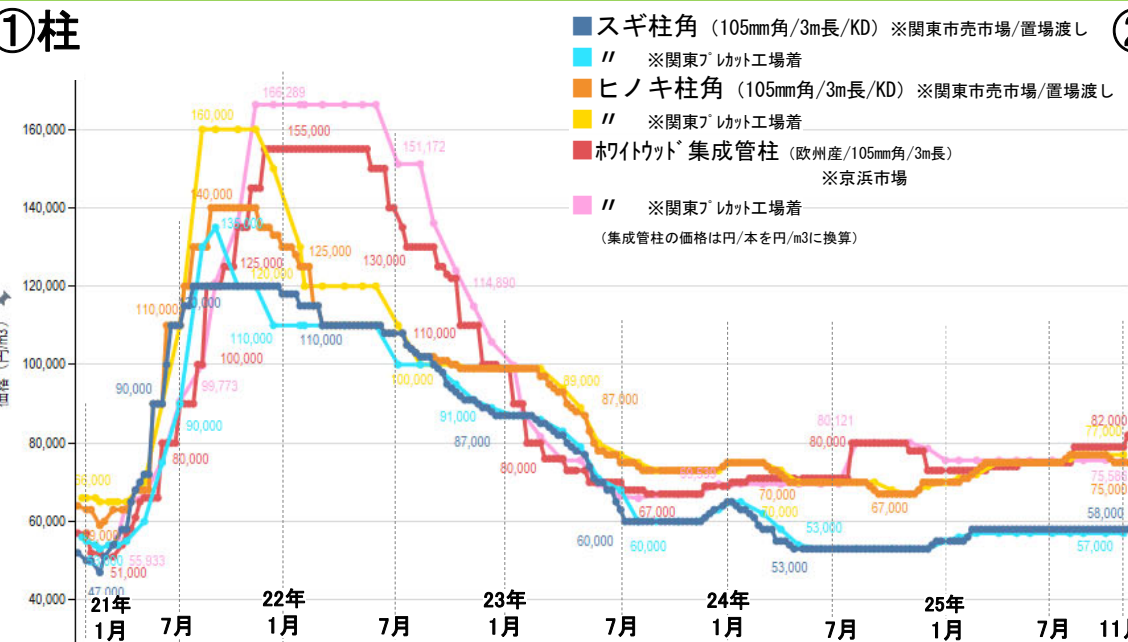
イ ヒノキ（全国） 径24cm程度、長3.65～4.0m（2020年1月～）

・ 全国の原木市場・共販所において、直近のヒノキ原木価格は、21,000円～23,390円/㎡となっている。



(2) 製品価格

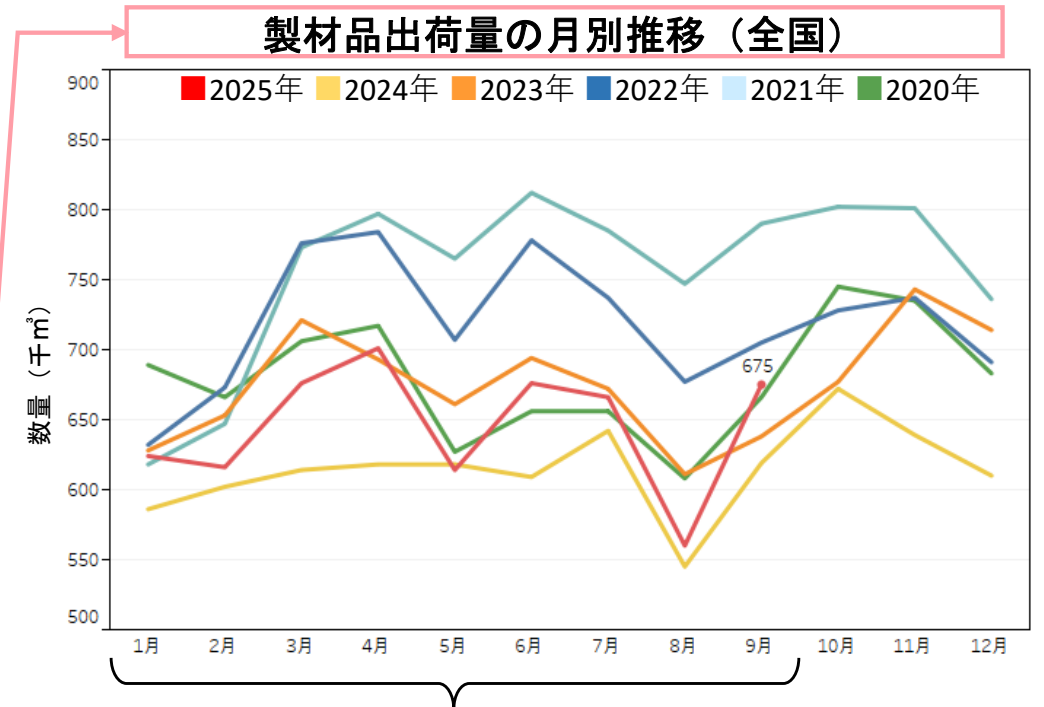
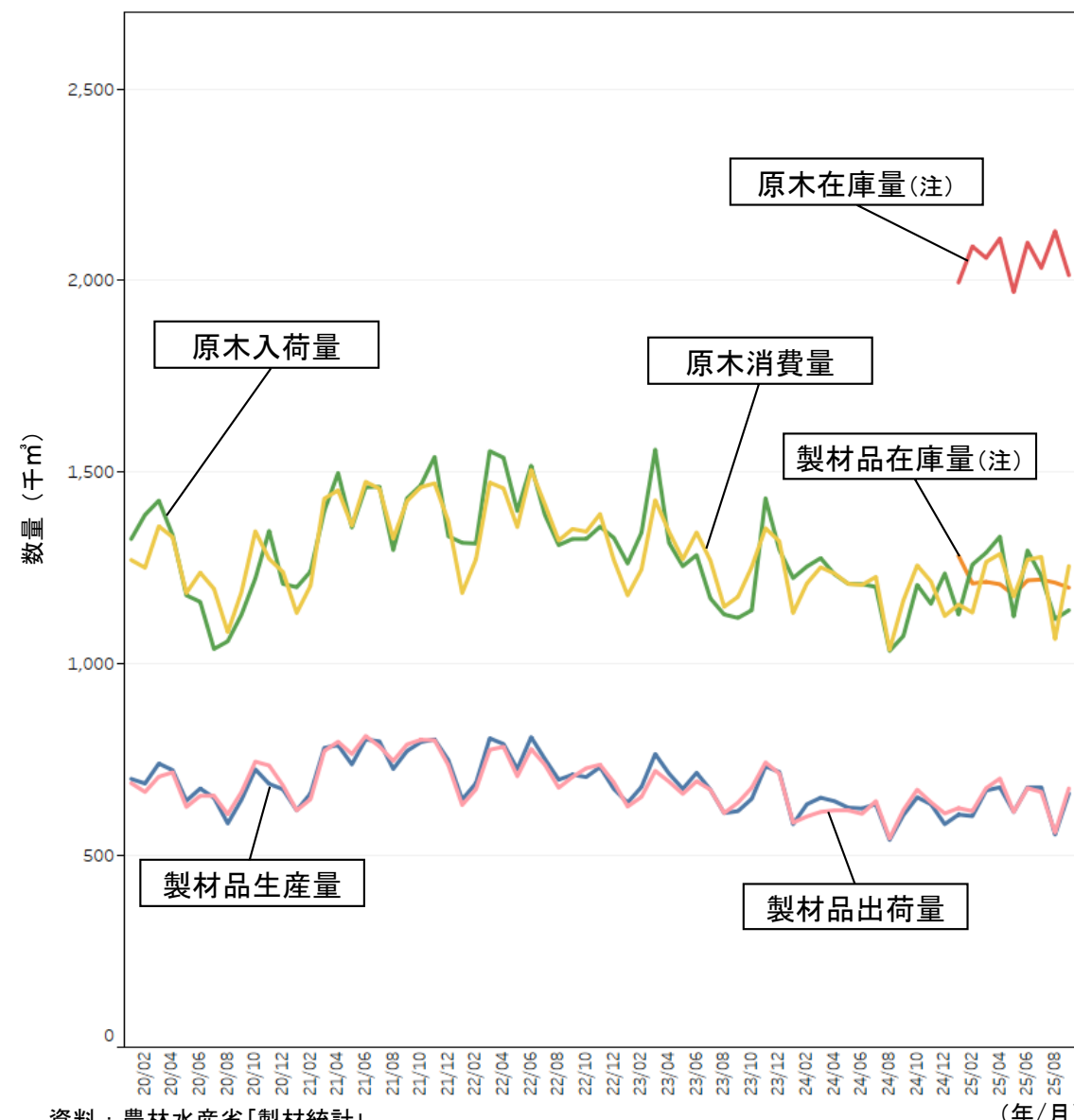
令和3(2021)年は、世界的な木材需要の高まり等により輸入材製品価格が高騰し、代替需要により国産材製品価格も上昇。
令和4(2022)年以降、柱、間柱、平角の価格は長期的に下落傾向であったが、国産材の柱の価格は令和6(2024)年4月に入り横ばいで推移していたが12月から上昇し、その後横ばい。構造用合板の価格は、令和7(2025)年1月まで下落を続けた後、上昇傾向。



2 工場の原木等の入荷、製品の生産等の動向

(1) 製材 (全国)

- 2025年 1 ～ 9 月の原木の入荷量は10,916千 m^3 （前年比102%）。
- 同様に製材品の出荷量は5,808千 m^3 （前年比107%）。

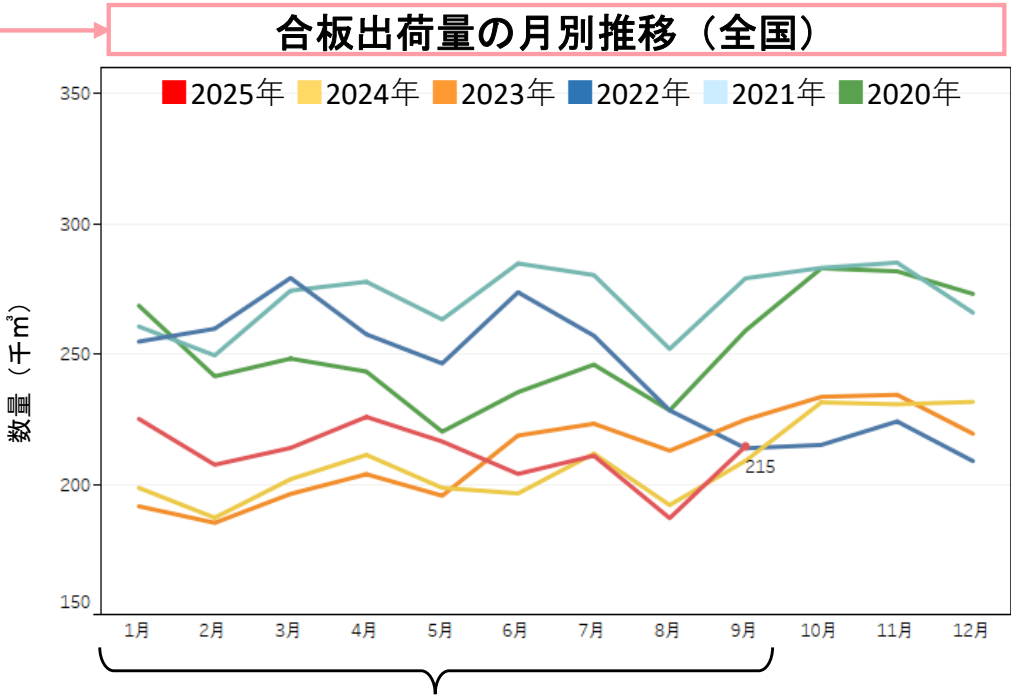
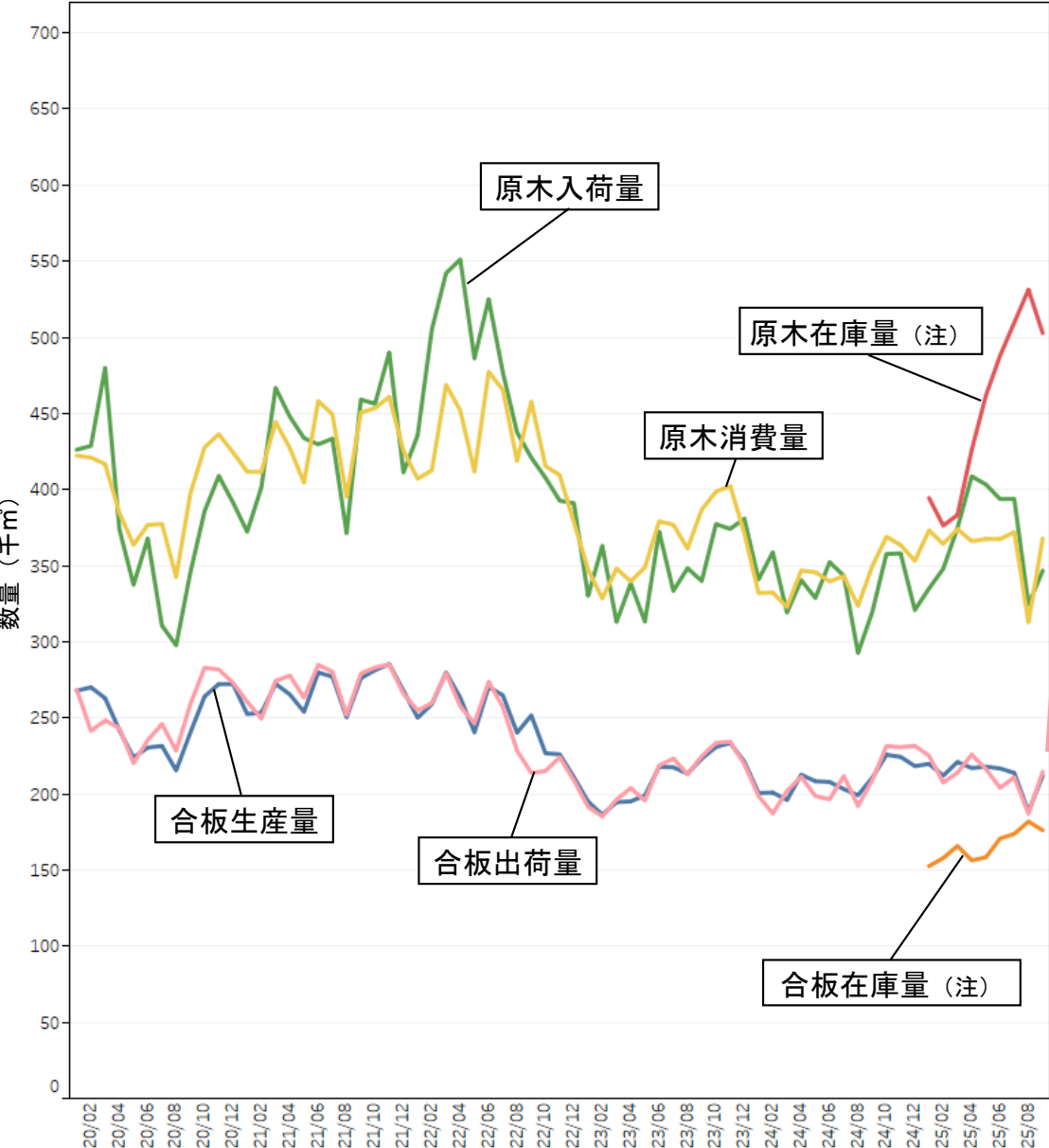


	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
1～9月原木入荷量合計(千 m^3)	11,045	12,346	12,664	11,438	10,713	10,916
前年との比較	—	112%	103%	90%	94%	102%
1～9月製材品出荷量合計(千 m^3)	5,991	6,734	6,469	5,971	5,453	5,808
前年との比較	—	112%	96%	92%	91%	107%

資料：農林水産省「製材統計」
注）原木在庫量、製材品在庫量については、2025年 1 月から月末在庫量の算出方法が変更されたため、当該月から掲載。

(2) 合板（全国）

- 2025年 1 ～ 9 月の原木の入荷量は3,328千m³（前年比111%）。
- 同様に合板の出荷量は1,905千m³（前年比105%）。

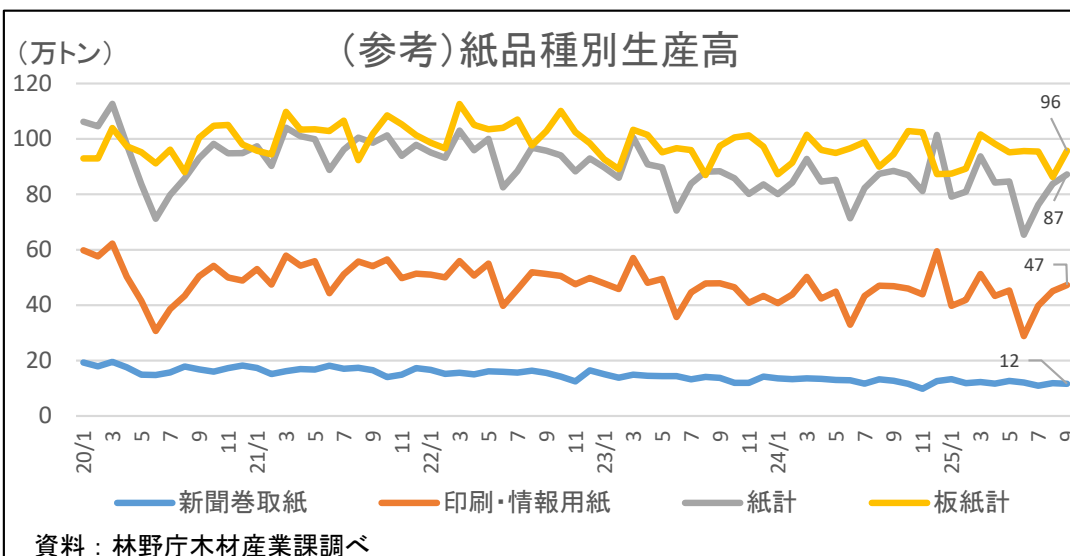
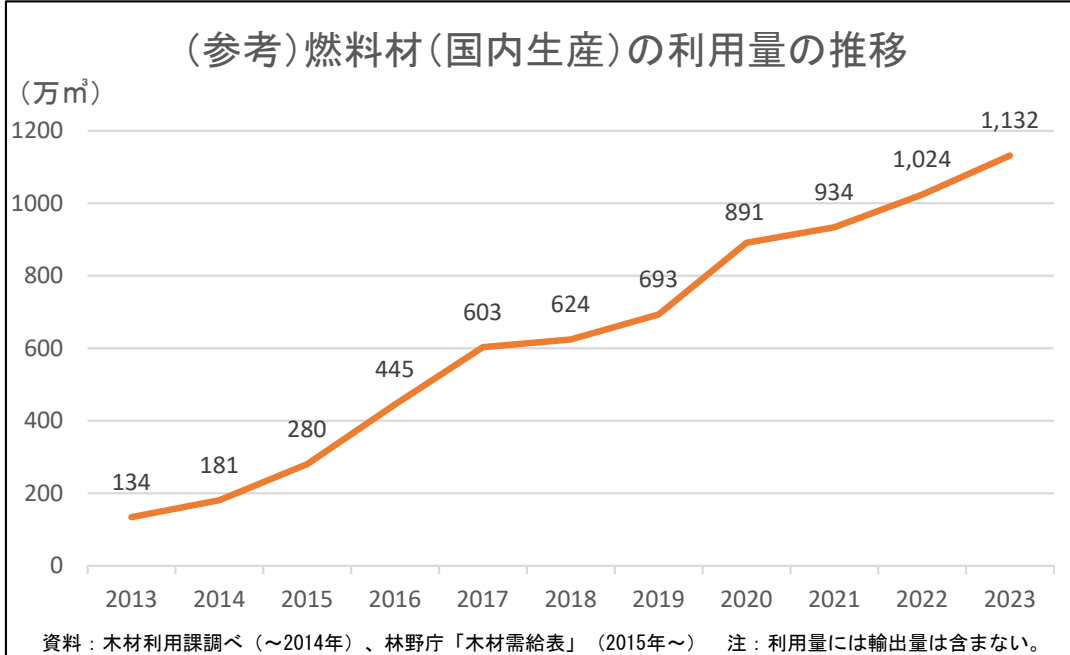
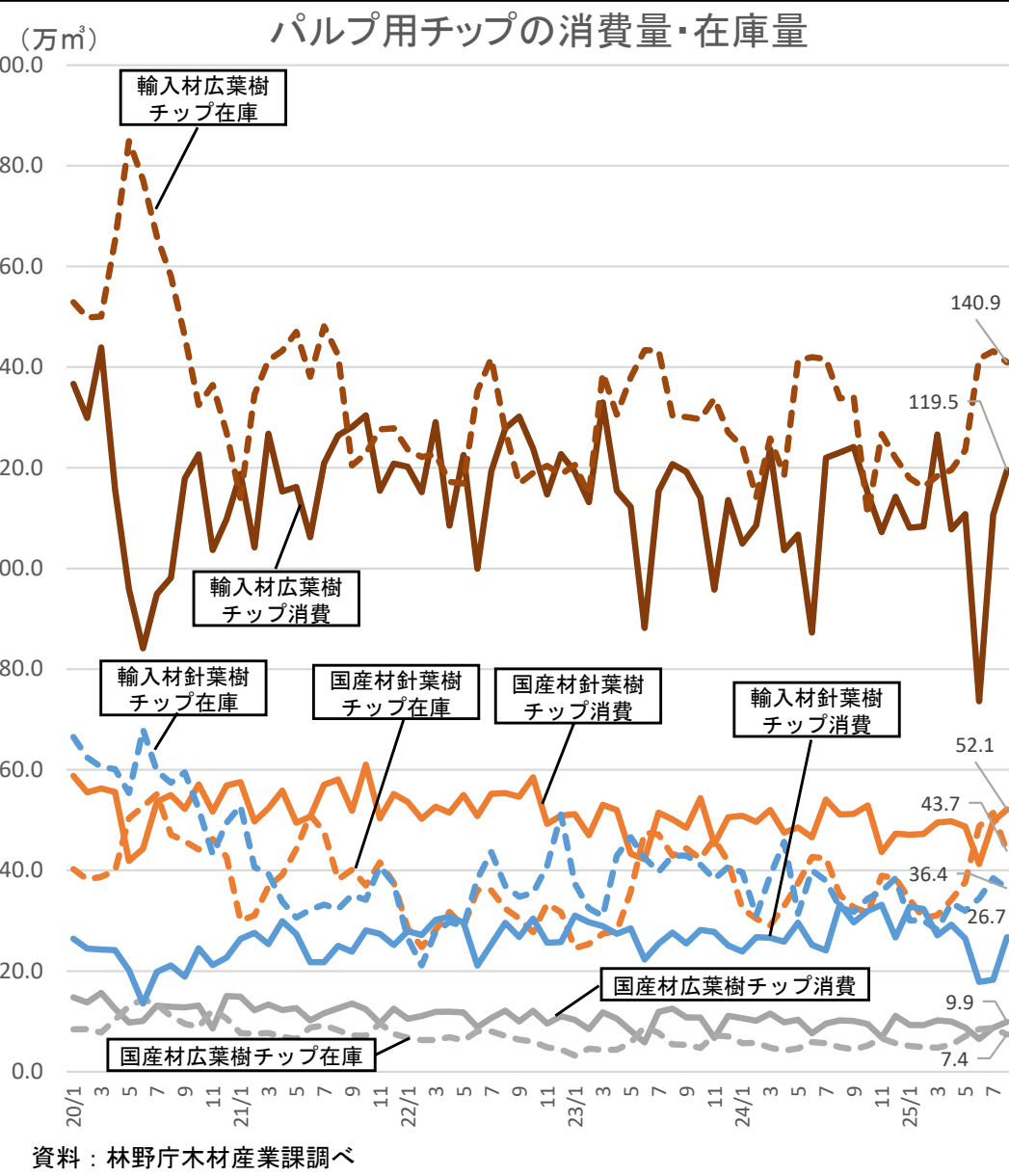


	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
1～9月原木入荷量合計(千m3)	3,368	3,815	4,380	3,052	2,996	3,328
前年との比較	—	113%	115%	70%	98%	111%
1～9月製材品出荷量合計(千m3)	2,190	2,422	2,271	1,852	1,807	1,905
前年との比較	—	111%	94%	82%	98%	105%

資料：農林水産省「合板統計」
注）原木在庫量、製材品在庫量については、2025年 1 月から月末在庫量の算出方法が変更されたため、当該月から掲載。

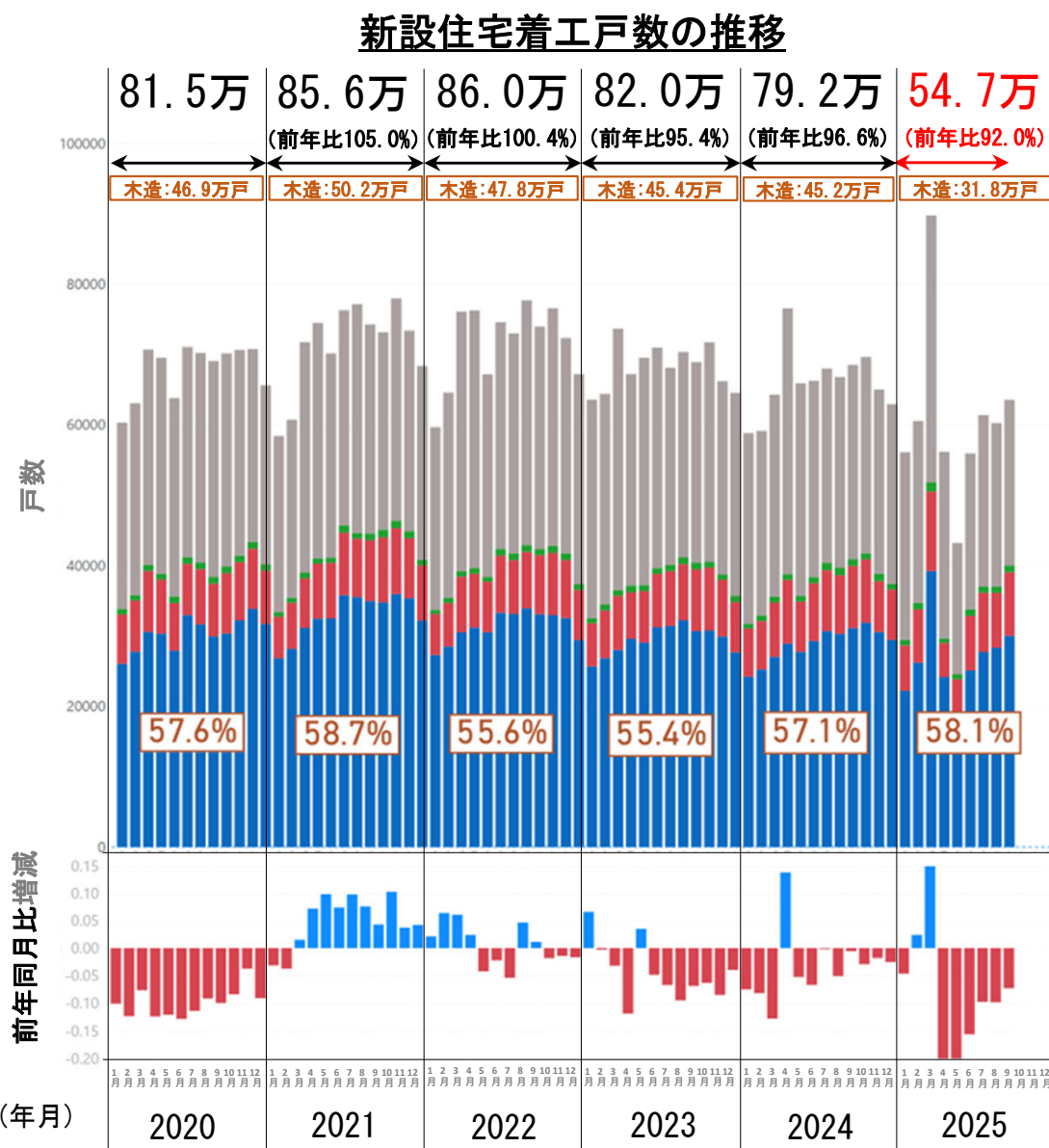
(3) チップ（全国）

- パルプ用チップの消費について、2025年8月の輸入材広葉樹チップの消費量は119.5万 m^3 。国産材針葉樹チップの消費量は52.1万 m^3 となっている。
- 燃料材（国内生産）の利用量は、発電利用を中心に増加（過去10年間で約8倍）。

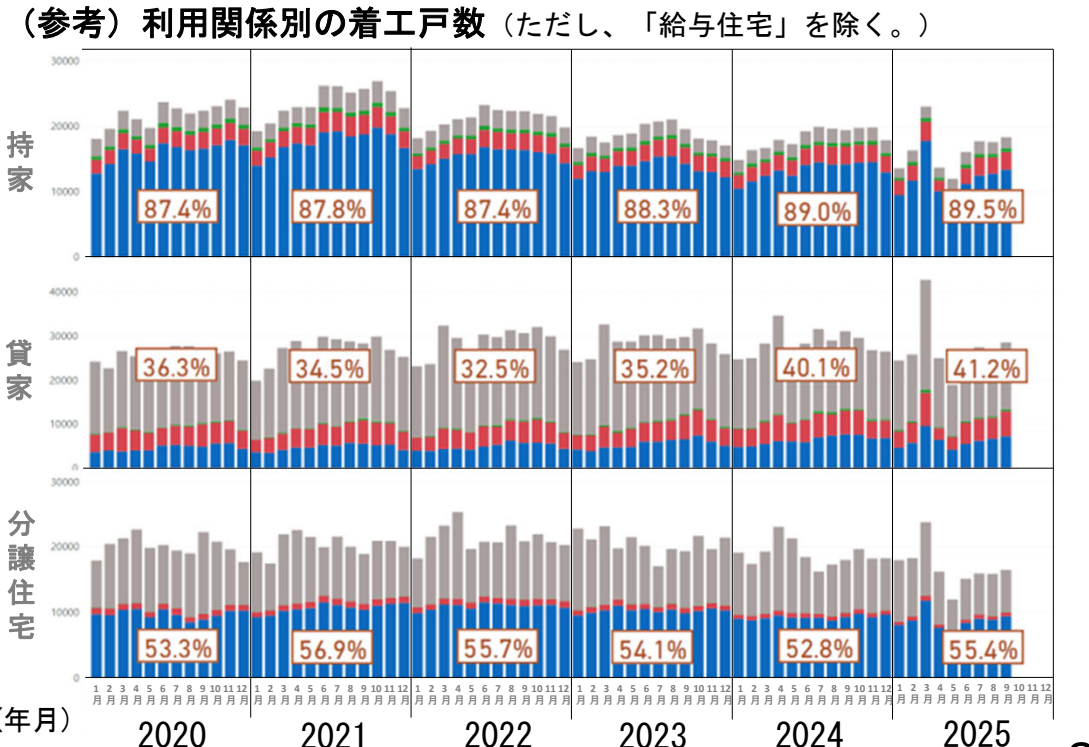


3 住宅着工戸数の動向（2020年1月～2025年9月）

- 2024年の新設住宅着工戸数は79.2万戸（前年比▲3.3%）、このうち木造住宅は45.2万戸（同▲0.5%）となり、2023年の水準を下回ったものの、非木造の34.0万戸（同▲6.9%）に対して木造住宅の減少率は低く留まっており、2024年の新設住宅における木造率は57.1%（前年比+1.7ポイント）となった。
- 2025年1～9月の新設住宅着工戸数は54.7万戸（前年同期比92.0%）、このうち木造住宅は31.8万戸（同95.2%）。



構造別の着工戸数	2025年 1～9月	前年 同期	前年 同期比	前々年 同期	前々年 同期比
合計	547,154	594,516	92.0%	617,030	88.7%
■ 非木造	229,024	260,257	88.0%	277,638	82.5%
木造	318,130	334,259	95.2%	339,392	93.7%
■ 木造プレハブ	8,009	7,970	100.5%	7,869	101.8%
■ 2×4	68,438	71,695	95.5%	66,630	102.7%
■ 在来軸組	241,683	254,594	94.9%	264,893	91.2%
□ 木造率	58.1%	56.2%		55.0%	

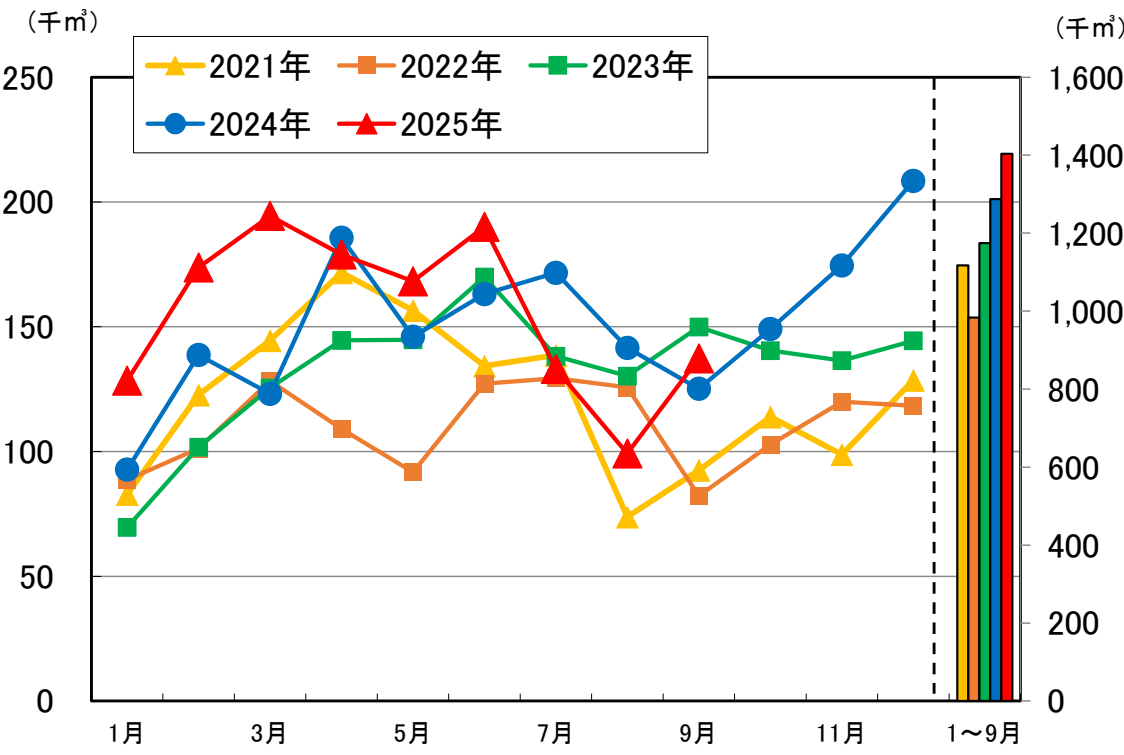


資料：国土交通省「住宅着工統計」

4 木材輸出量

・ 2025年 1～9月の木材輸出量は、丸太1,403千³m（前年同期比109%）、製材152千³m（前年同期比136%）、合板112千³m（前年同期比154%）となった。

○丸太輸出量の推移（月別）



資料：財務省易統計
注1：丸太は、貿易統計の第44.03項、製材は第44.07項、合板は第4412.31号から第4412.39号までを集計
注2：四捨五入により、数値が合わないことがある

○木材輸出量の状況（主な国・地域別、品目別）

輸出先	9月 単月			1～9月累計		
	主要品目内訳(千 ³ m) 前年同月比(%)			主要品目内訳(千 ³ m) 前年同月比(%)		
	丸太	製材	合板	丸太	製材	合板
中国	123 113%	6 93%	0 112%	1,270 110%	51 109%	4 138%
韓国	9 85%	1 165%	0 36%	85 106%	7 114%	0 133%
台湾	5 90%	1 59%	0 —	45 85%	15 124%	0 1667%
米国	0 —	5 96%	0 —	0 —	45 138%	0 —
フィリピン	0 —	5 304%	12 146%	0 —	30 258%	108 155%
その他	1 167%	1 249%	0 —	4 123%	5 134%	0 52%
総計	137 110%	19 120%	12 145%	1,403 109%	152 136%	112 154%

○税関ごとの丸太輸出量（2025年 1～9月）

税関名	管轄※	合計(千 ³ m)	割合
函館税関	北海道,青森,岩手,秋田	209.0	14.9%
東京税関	山形,群馬,埼玉,千葉,東京,新潟,山梨	47.5	3.4%
横浜税関	宮城,福島,茨城,栃木,千葉,神奈川	29.4	2.1%
名古屋税関	長野,岐阜,静岡,愛知,三重	19.1	1.4%
神戸税関	兵庫,鳥取,島根,岡山,広島,徳島,香川,愛媛,高知	32.3	2.3%
大阪税関	大阪,京都,和歌山,奈良,滋賀,福井,石川,富山	12.3	0.9%
門司税関	山口,福岡,佐賀,長崎,大分,宮崎	367.4	26.2%
長崎税関	福岡,佐賀,長崎,熊本,鹿児島	686.6	48.9%
沖縄地区税関	沖縄	0.0	0.0%
計		1,403.5	100%

※木材の集荷範囲とは対応していない